

治験・がん治療開発とJCOG

国立がん研究センター中央病院
臨床研究支援部門 データ管理部
/JCOGデータセンター
福田治彦

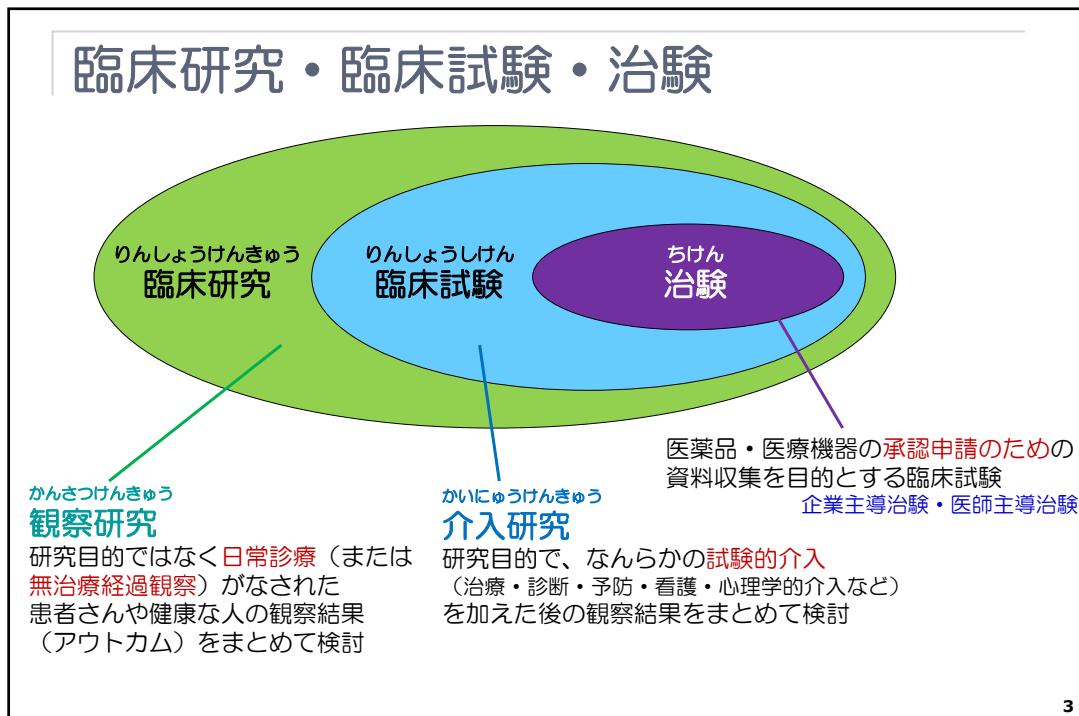
1

本日のトピックス

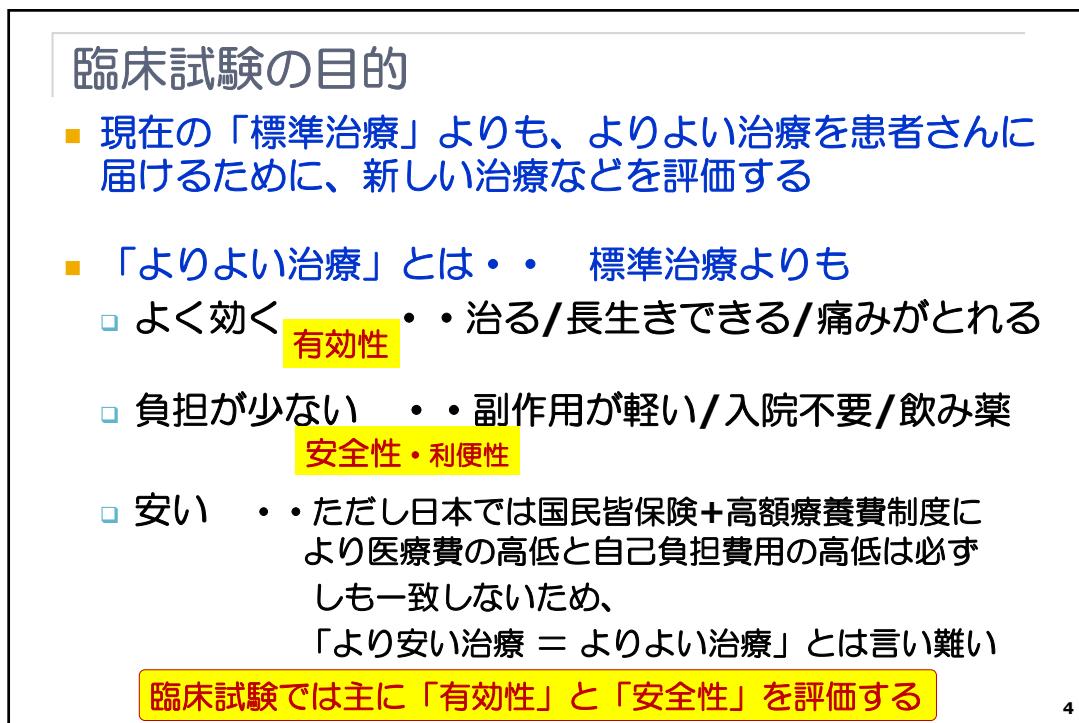
- 臨床研究の種類
 - 臨床研究、臨床試験、治験
- 臨床試験
 - 目的、誰が行うのか？ どうやって進むのか？
- がん治療の特徴
 - 集学的治療、共同研究グループ
 - **JCOG** (Japan Clinical Oncology Group/日本臨床腫瘍研究グループ)
 - ミッション、組織、JCOG試験とは？ 標準治療とは？
 - 診療ガイドライン、治療開発マップ、JCOG試験の流れ
 - 中間解析

2

2



3



臨床試験：誰が行うのか？

■ 製薬企業が行う

- 製造販売承認申請のための治験
- 製造販売後の再審査のための製造販売後臨床試験/調査
- データが厚生労働省への承認申請資料に使われる
- 製薬企業が「治験依頼者」として医療機関に委託（費を払う）

■ 研究者（医師）が行う

- 新しい治療法を生み出すための臨床試験
- 標準治療をよりよくするための臨床試験
- 結果の論文が診療ガイドラインに引用されて日常診療に反映
- 公的研究費（今は主にAMED）を取得して経費を賄う

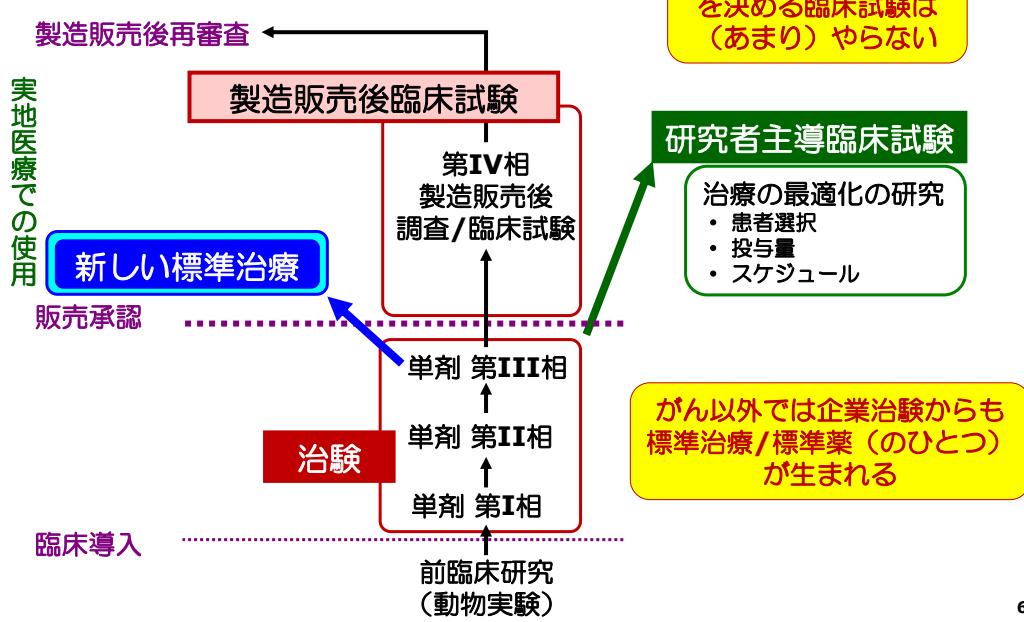
■ 研究者（医師）と製薬企業が協力して行う

- 適応拡大のための医師主導治験など
- 企業から薬剤や資金の提供を受ける

5

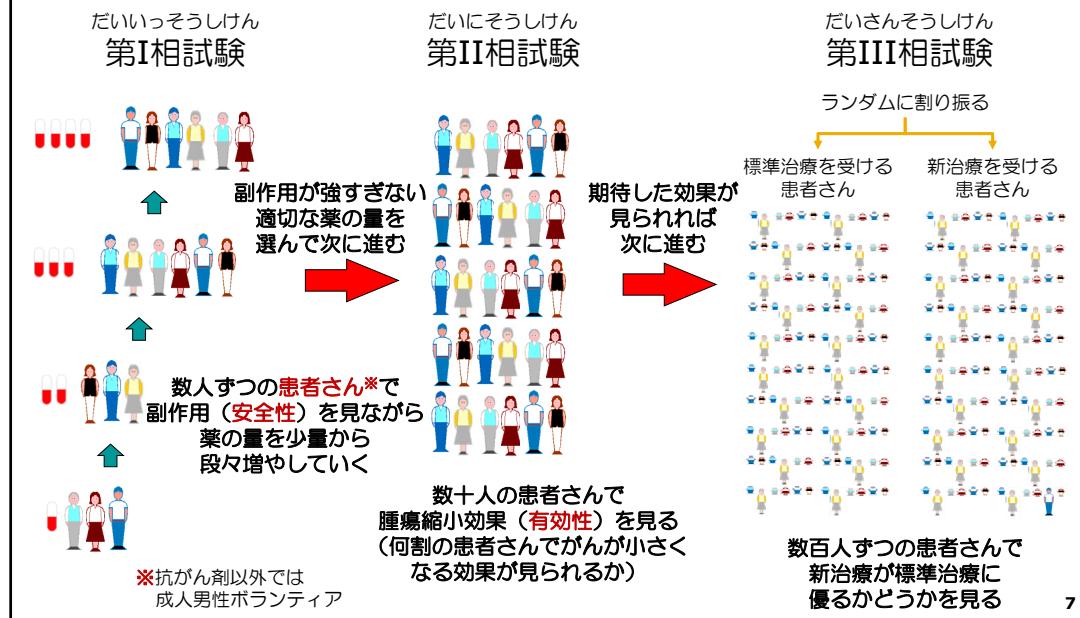
5

一般薬の治療開発

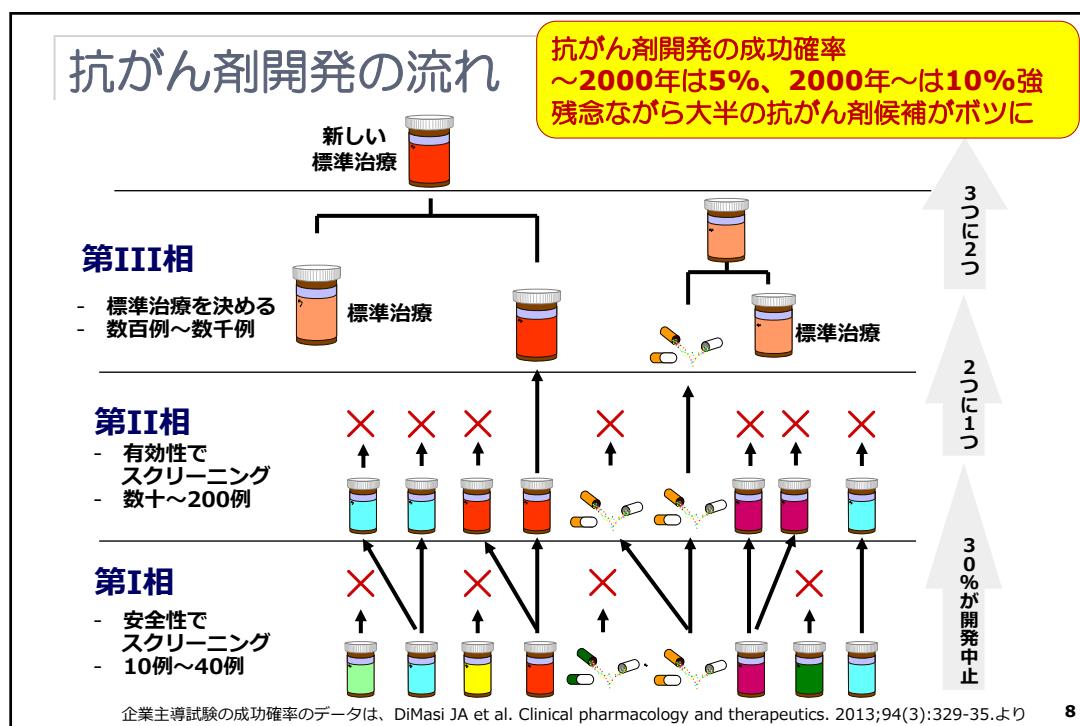


6

抗がん剤の臨床試験：どうやって進むのか？



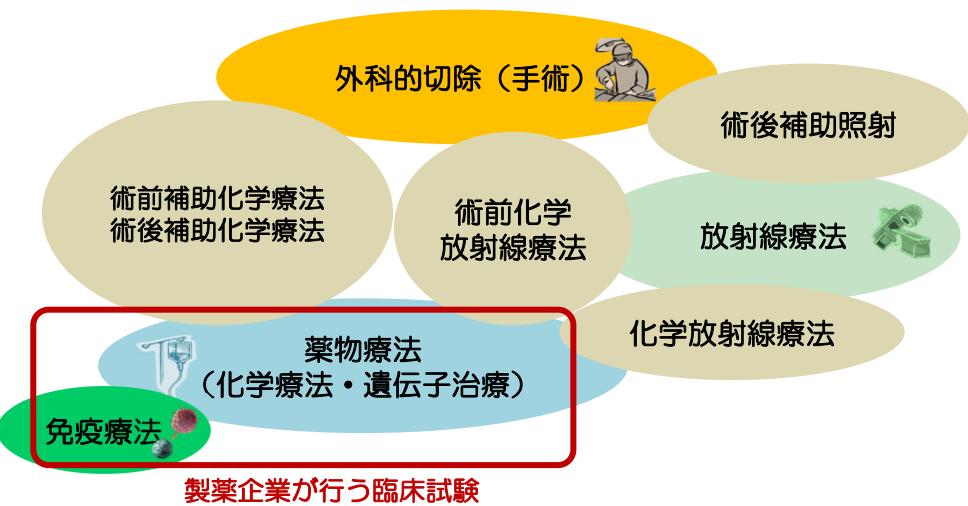
7



8

がん治療の特徴：集学的治療

「朱子」的儒學

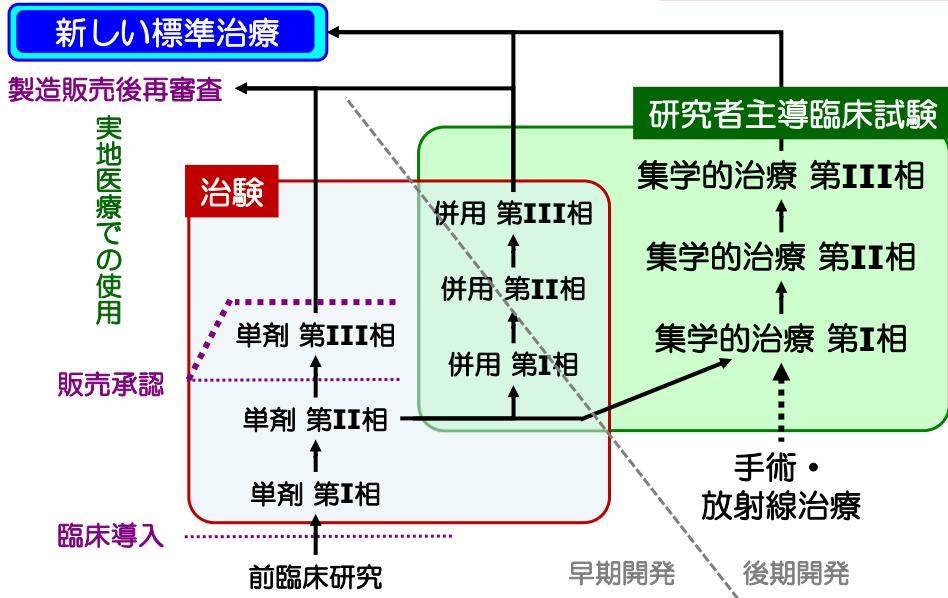


9

9

がんの治療開発

がんでは標準治療の進歩に
研究者主導臨床試験が不可欠



10

10

がんの後期開発は誰が行うのか？



11

11

JCOGのミッション じえいこく

Japan Clinical Oncology Group
日本臨床腫瘍研究グループ
JCOG
Japan Clinical Oncology Group

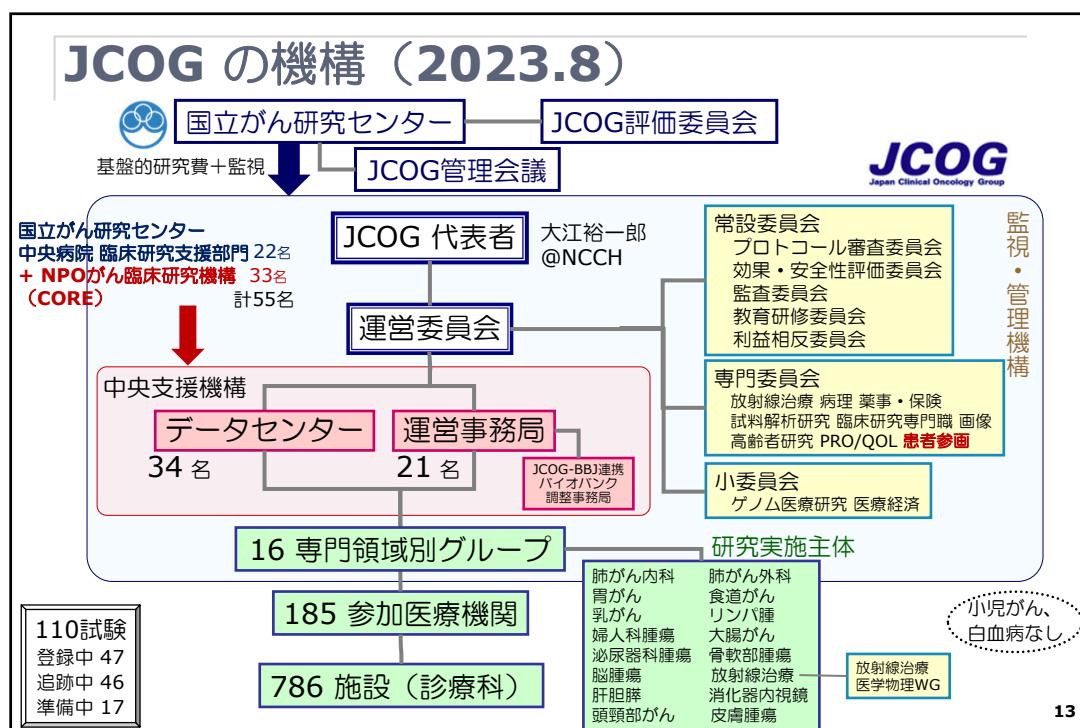
■ JCOG の目的と目標

科学的証拠に基づいて患者に第一選択として推奨すべき治療である標準治療や診断方法等の最善の医療を確立することを目的として研究活動を行う

この研究活動を通して各種がんの治癒率の向上とがん治療の質の向上を図ることを目標とする

12

12



13

企業がやらない臨床試験：JCOG試験の例

■ 集学的治療の臨床試験

□ JCOG1007 (大腸がんG)

- 切除不能の転移のあるIV期大腸癌に対する「原発巣切除あり vs. なし (化学療法のみ)」
→ 生存期間で原発巣切除が優らなかった → 化学療法が標準治療である

■ ライバル社の薬剤どうしの直接比較

□ JCOG0910 (大腸がんG)

- III期大腸癌術後療法：カペシタビン（中外）vs. S-1（大鵬）
→ 無病生存期間でS-1が劣った → カペシタビンが標準治療である

■ 希少がんを対象とした試験

□ JCOG1502C (大腸がんG / 肝胆脾G)

- 小腸癌術後療法 手術単独 vs. 手術十術後カペシタビン+オキサリプラチソ
保険診療として使えない
てきとうがいじょう
- カペシタビンとオキサリプラチソはいずれも適応外使用
→ 先進医療Bの臨床試験として現在実施中

14

14

「標準治療」とは？

- 現在利用できる治療の中で、安全でより効果のある治療であることが、臨床試験などの結果から科学的に確かめられている治療方法

– がん情報サービス「臨床試験のQ&A」

- 科学的証拠（エビデンス）に基づいて患者に第一選択として推奨すべき治療

– JCOGポリシー「基本規約」

「一番よい治療」とは言えるが、すべての患者さんに一律に行う治療ではなく、患者さんの病状や希望によっては、より適した治療があり得る

15

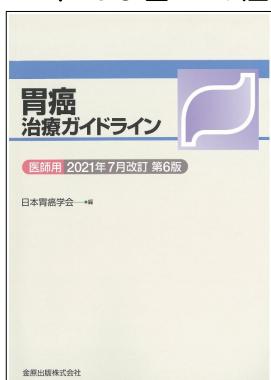
15

治療（診療）ガイドライン

- 診療上の重要度の高い医療行為について、エビデンスの系統的レビューとその総体評価、益と害のバランスなどを考量して、患者と医療者の意思決定を支援するために最適と考えられる推奨を提示する文書

「Minds診療ガイドライン作成の手引き
2014（医学書院）」より一部改変

- 日本では各がん種ごとの学会が作成



16

16

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

食道がんグループ：食道がん治療

標準治療よりよい治療を開発するためには
「標準治療は何か」を明確にする必要あり

対象(UICC7th)	標準治療	JCOG試験 実施中のJCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 適応外薬	
Stage IA	内視鏡的粘膜切除術(ESD/EMR)+CRT	JCOG502 根治的 化学放射線療法	JCOG1904 CRT(IFI) vs. CRT(ENI) 2020.3~	JROSG12-1 頭部食道癌_PII CF-IMRT (強度変調放射線治療) Chemo-selection 導入DCF療法 ³⁾ 後 手術 or CF-RT ⁴⁾	
Stage II	食道切除了 ¹⁾	JCOG9907 術前化学療法 (シスプラチニン+5-FU) +食道切除了 ¹⁾	JCOG1109 術前CF療法 ²⁾ vs. 術前DCF療法 ³⁾ vs. 術前CF-RT療法 ⁴⁾ +食道切除了 ¹⁾ 2012.12~ 追跡中	JCOG1804E 術前CF療法 ²⁾ vs. 術前DCF療法 ³⁾ + Nivo ⁵⁾ +食道切除了 ¹⁾ 2019.3~ 実施中	オキサリブロチニン* カルバプラチニン イリノテカブ (Nivo ⁵⁾)
Stage III		JCOG909 根治的 化学放射線療法 (50.4Gy) +救済治療		JROSG12-2 術前CF療法後 手術 術後S-1療法安全性 Checkmate-577 Phase III 術前化学放射線療法後 手術 + 術後Nivo ⁵⁾ vs Placebo	
T4a/M1LYM 切除可能	術前化学療法 (シスプラチニン+5-FU) +食道切除了 ¹⁾				
T4b/M1LYM 切除不能	根治的化学放射線療法 JCOG9516, JCOG9908, JCOG9303, KROSG0101		JCOG1510 根治的化学放射線療法 vs 導入DCF療法 + 根治的化学放射線療法 or (+食道切除了 ¹⁾) 2018.2~実施中	NOBEL 根治的化学放射線療法 + Nivo ⁵⁾	
Stage IV	化学療法: シスプラチニン+5-FU, nedaplatin+5-FU JCOG8807, JCOG9407 JCOG9905-DI	2次化学療法: Nivo ⁵⁾ 3次化学療法: パクリタキセド・セタキセル	JCOG1314 CF療法 ²⁾ vs. DCF療法 ³⁾ 2014.9~	TENERGY 根治的化学放射線療法後 アデリズマブ Checkmate-648 1次化学療法 Phase III CF療法 vs CF+Nivo ⁵⁾ vs Nivo ⁵⁾ + ipilimumab RATIONALE 302試験 2次化学療法 Phase III タキサン系 vs. Tisotuzumab RATIONALE 305試験 1次化学療法 Phase III CF+Tisotuzumab vs. CF+ Placebo	
再発					

1) 食道切除了+2-3領域リンパ節郭清
2) CF : シスプラチニン+5-フルオロウラシル療法
3) DCF : ドセタキセル+シスプラチニン+5-フルオロウラシル療法
4) CF-RT : シスプラチニン+5-フルオロウラシル+放射線療法
5) Nivo: Nivolumab *FOLFOX+RTあるいは FOLFOX療法と併用

17

17

Googleで“jcog”で検索

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

年2回定期更新+
新規試験計画時随時更新

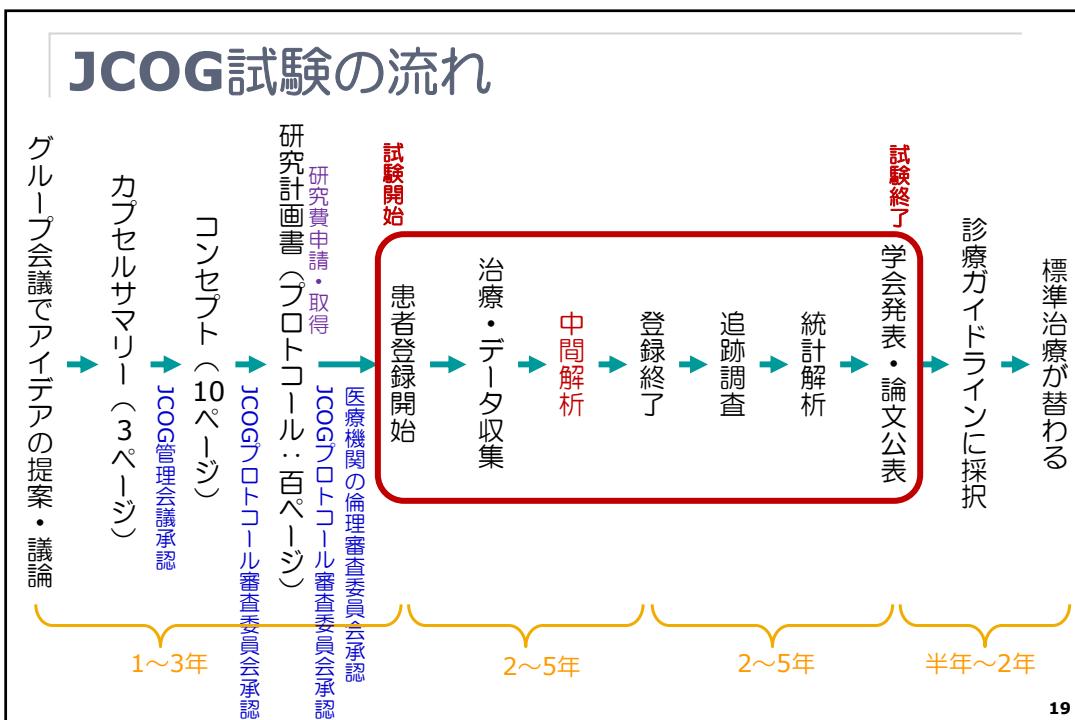
がん治療の正解を
求め続ける

一般の皆さん・患者さん向け
For patient and public

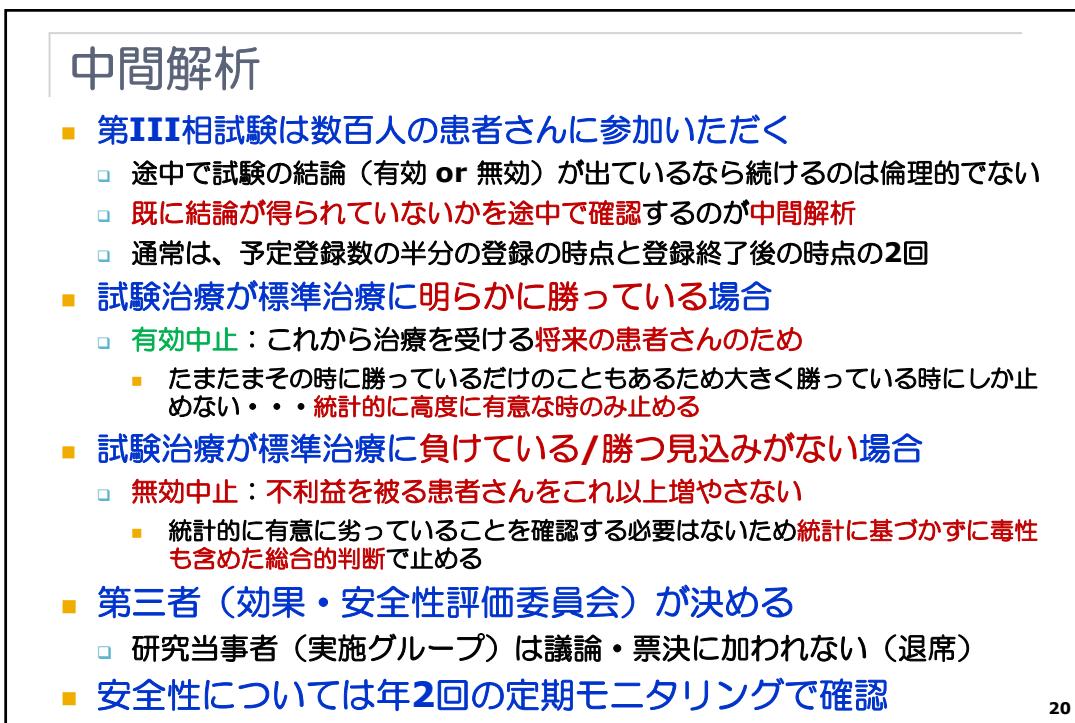
研究者・医療関係者の皆さん向け
For doctor and researcher

18

18



19



20

まとめ

- 製薬企業が行う治験・製造販売後臨床試験と
研究者が行う研究者主導臨床試験がある
- がんでは研究者主導臨床試験が不可欠である
 - JCOGは企業がやらない臨床試験をやっている
- 標準治療とは?
 - エビデンスに基づいて第一選択として推奨すべき治療
 - JCOG治療開発マップで見ることができる
- 臨床試験発案から標準治療が替わるまで何年もかかる
 - 試験実施中は定期モニタリングと中間解析により倫理性を担保

21

21